平成25年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年１月31日

上場会社名　　株式会社　スクロール　　上場取引所　東
コード番号　　8005　　ＵＲＬ　http://www.scroll.jp/
代表者　　（役職名）取締役社長　　（氏名）堀田　守
問合せ先責任者　（役職名）取締役常務執行役員　　（氏名）長田　隆利　　ＴＥＬ　053-464-1114

四半期報告書提出予定日　　平成25年２月13日　　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　有
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成25年３月期第３四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年12月31日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第３四半期	47,939	7.7	2,218	△5.3	2,509	△3.9	1,557	5.1
24年３月期第３四半期	44,530	4.1	2,342	12.1	2,612	15.6	1,482	13.8

（注）包括利益　25年３月期第３四半期　1,635百万円　(4.3%)　24年３月期第３四半期　1,567百万円　(33.6%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第３四半期	47.08	－
24年３月期第３四半期	44.81	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第３四半期	36,123	23,994	66.4
24年３月期	34,201	22,690	66.3

（参考）自己資本　　25年３月期第３四半期　　23,993百万円　　24年３月期　　22,690百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	－	5.00	－	5.00	10.00
25年３月期	－	5.00	－		
25年３月期（予想）				5.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	61,000	2.5	700	△67.8	1,000	△60.3	600	4.1	18.13

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無
　　新規　－社　（社名）－、除外　－社　（社名）－

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：	有
②　①以外の会計方針の変更	：	無
③　会計上の見積りの変更	：	有
④　修正再表示	：	無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の５に該当するものであります。詳細は、〔添付資料〕４ページ「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期３Ｑ	34,320,650株	24年３月期	34,320,650株
②　期末自己株式数	25年３月期３Ｑ	1,231,447株	24年３月期	1,231,121株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期３Ｑ	33,089,319株	24年３月期３Ｑ	33,089,741株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

　この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

　本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、〔添付資料〕３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

　四半期決算補足説明資料は、平成25年１月31日に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 8
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（５）セグメント情報等 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災からの復興需要等による緩やかな回復傾向がみられたものの、欧州の債務問題に対する懸念等を背景とした円高の長期化、日中関係の悪化や世界景気の減速の影響を背景に、依然として厳しい景況感のなかで推移しました。

小売業界におきましては、引き続き雇用情勢が厳しく、個人消費が長期にわたり低迷するなど、経営環境は厳しい状況が続いています。また、「社会保障・税一体改革法案」の成立により消費税の引上げが現実となったことから、将来の市場の閉塞感は強まる一方とみられます。

このような経済環境の変化に対応するため、当社グループは現在の中期経営計画を白紙撤回し、先行投資に重点をおいた「新中期経営計画」の策定を開始いたしました。この「新中期経営計画」では、①顧客へのサービスレベルの向上及びインフラコストの削減を目的とした三大事業インフラの構築、②将来の成長性が見込める新事業に対する積極的な投資といった従来の施策に加え、販促費の集中投資を伴う顧客づくりのための諸施策を実行することを予定しております。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間の業績は、売上高47,939百万円（前年同四半期比7.7％増）となりました。利益面におきましては、営業利益2,218百万円（同5.3％減）、経常利益2,509百万円（同3.9％減）、四半期純利益1,557百万円（同5.1％増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

第１四半期連結会計期間より、前連結会計年度まで「通販非アパレル事業」としていた報告セグメントを「通販ＬＦ（ライフファッション）事業」及び「通販Ｈ＆Ｂ（ヘルシー＆ビューティー）事業」の２区分に変更しております。前年同四半期比は、前第３四半期連結累計期間の数値をセグメント変更後の数値に組替えた上で、比較を行っております。詳細は、「３．四半期連結財務諸表（５）セグメント情報等」をご参照ください。

なお、セグメント別の売上高は連結相殺消去後、セグメント利益は連結相殺消去前の数値を記載しております。

① 通販アパレル事業

通販アパレル事業におきましては、シニアマーケットを対象とした事業開発、スマートフォン用アプリの開発・提供など将来の収益獲得につながる投資を実行しております。生協販売におきましては、カタログ展開の最適化に重点をおき、最適な時期に最も価値のある戦略商品を、新たなビジュアル表現にて展開し、売上の拡大を目指してまいりました。

以上の結果、売上高は19,527百万円（前年同四半期比5.7％増）となり、セグメント利益は1,382百万円（同49.5％増）となりました。

② 通販インナー事業

通販インナー事業におきましては、季節に応じた商材を強化するとともに、中高価格帯ブランドを新規投入するなど販売の拡大に努めてまいりました。生協販売におきましては、カタログ媒体の発行を強化し、更なる成長を目指してまいりました。

以上の結果、売上高は8,010百万円（同0.0％増）となり、セグメント利益は509百万円（同22.8％減）となりました。

③ 通販ＬＦ（ライフファッション）事業

通販ＬＦ事業におきましては、平成24年５月８日付で株式会社ＡＸＥＳの全株式を取得し、商品ジャンル及びＥＣ事業の拡充を図るとともに、グループ収益力の向上及び多様で強固な事業基盤の確立を目指してまいりました。このほか、有名タレントとのコラボレーション商品の投入や顧客ニーズを取り入れた提案型商品の展開など、家具・インテリア雑貨商材の商品企画力の向上に努めてまいりました。

以上の結果、売上高は10,894百万円（同15.7％増）となり、セグメント利益は466百万円（同33.5％減）となりました。

④ 通販Ｈ＆Ｂ（ヘルシー＆ビューティー）事業

通販Ｈ＆Ｂ事業におきましては、プライベートブランド化粧品専門通販サイト『豆腐の盛田屋』において、『金のまゆ』シリーズのインフォマーシャルを開始するなど、新規顧客の開拓に積極的に取り組んでおります。また、ナショナルブランド化粧品専門通販サイト『コスメランド』において、オフィシャルサイトでの積極的な拡販に努める一方、楽天市場に２号店となる『コスメエッセンス』を新規出店し、楽天市場における売上シェアの拡大に努めてまいりました。

以上の結果、売上高は5,010百万円（同31.7％増）となり、セグメント利益は47百万円（同11.0％増）となりました。

⑤ ソリューション事業

ソリューション事業におきましては、通販事業者に対する、受注代行や物流代行などのフルフィルメント支援、『Xspeecs』を中心としたＥＣシステムの提供、ＥＣコンサルをはじめとした販売促進支援などの事業に取り組んでまいりました。また、通販、ＥＣ市場の成長に合わせた物流システムの改変、新たな決済サービスの追加、ＥＣ通販システムの刷新等、業容拡大に向けた施策を進めております。

以上の結果、売上高は4,341百万円（同3.4％減）となり、セグメント利益は215百万円（同24.1％減）となりました。

⑥ 金融事業

金融事業におきましては、平成21年６月末をもって個品割賦事業における新たな債権買取りを終了し、現在は保有債権の回収に専念しております。

以上の結果、営業収益は154百万円（同52.9％減）となり、セグメント利益は65百万円（同71.9％減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末の総資産は36,123百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,921百万円増加しました。これは主に流動資産におけるたな卸資産及び売掛金の増加によるものです。

負債は12,128百万円となり、前連結会計年度末に比べ617百万円増加しました。これは主に今後予定している事業投資のための新規借入によるものです。

純資産合計は23,994百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,304百万円増加し、自己資本比率は66.4％となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、本日（平成25年１月31日）公表の「スクロールロジスティクスセンター浜松西の物流トラブル発生に関するお知らせ」に記載しましたとおり、通期業績に与える影響が明らかでないため平成24年10月26日に公表いたしました連結業績予想から修正しておりません。

なお、修正が必要と判断した場合は、速やかに開示いたします。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第３四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,747	1,251
売掛金	12,684	13,900
たな卸資産	4,093	5,186
その他	3,066	2,940
貸倒引当金	△694	△613
流動資産合計	20,898	22,664
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,001	4,751
土地	4,711	4,730
その他（純額）	808	1,216
有形固定資産合計	10,522	10,698
無形固定資産	569	532
投資その他の資産		
その他	2,283	2,241
貸倒引当金	△71	△13
投資その他の資産合計	2,211	2,227
固定資産合計	13,303	13,458
資産合計	34,201	36,123
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,481	3,091
短期借入金	1,149	100
未払金	4,844	3,896
未払法人税等	711	376
引当金	322	172
その他	852	1,086
流動負債合計	10,362	8,723
固定負債		
長期借入金	―	2,400
退職給付引当金	476	517
その他の引当金	297	329
その他	374	157
固定負債合計	1,148	3,405
負債合計	11,511	12,128

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,812	5,812
資本剰余金	7,222	7,222
利益剰余金	9,878	11,105
自己株式	△697	△697
株主資本合計	22,214	23,441
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	408	420
繰延ヘッジ損益	65	131
為替換算調整勘定	0	△0
その他の包括利益累計額合計	475	551
少数株主持分	―	0
純資産合計	22,690	23,994
負債純資産合計	34,201	36,123

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	44,530	47,939
売上原価	26,655	28,873
売上総利益	17,874	19,066
販売費及び一般管理費	15,532	16,847
営業利益	2,342	2,218
営業外収益		
受取利息	24	20
受取配当金	26	30
不動産賃貸料	57	52
為替差益	51	25
貸倒引当金戻入額	106	19
その他	61	172
営業外収益合計	326	321
営業外費用		
支払利息	34	7
不動産賃貸費用	16	12
その他	4	9
営業外費用合計	56	30
経常利益	2,612	2,509
特別利益		
固定資産売却益	2	37
特別利益合計	2	37
特別損失		
投資有価証券評価損	3	1
関係会社株式売却損	－	17
その他	1	2
特別損失合計	4	20
税金等調整前四半期純利益	2,610	2,527
法人税、住民税及び事業税	1,110	960
法人税等調整額	12	7
法人税等合計	1,123	967
少数株主損益調整前四半期純利益	1,487	1,559
少数株主利益	4	1
四半期純利益	1,482	1,557

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,487	1,559
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	90	11
繰延ヘッジ損益	△10	65
為替換算調整勘定	0	△0
その他の包括利益合計	80	76
四半期包括利益	1,567	1,635
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,563	1,634
少数株主に係る四半期包括利益	4	0

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
(セグメント情報)
Ⅰ 前第３四半期連結累計期間（自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント							調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	通販アパレル事業	通販インナー事業	通販ＬＦ事業	通販Ｈ＆Ｂ事業	ソリューション事業	金融事業	計		
売上高									
外部顧客への売上高	18,481	8,007	9,416	3,804	4,492	327	44,530	－	44,530
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	0	202	0	202	△202	－
計	18,481	8,007	9,416	3,804	4,694	328	44,733	△202	44,530
セグメント利益	924	660	701	42	283	233	2,845	△232	2,612

（注）１．セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去△131百万円及び投資不動産の内部取引利益△101百万円が含まれております。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第３四半期連結累計期間（自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント							調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	通販アパレル事業	通販インナー事業	通販ＬＦ事業	通販Ｈ＆Ｂ事業	ソリューション事業	金融事業	計		
売上高									
外部顧客への売上高	19,527	8,010	10,894	5,010	4,341	154	47,939	－	47,939
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	0	0	264	0	265	△265	－
計	19,527	8,010	10,894	5,011	4,606	154	48,204	△265	47,939
セグメント利益	1,382	509	466	47	215	65	2,686	△176	2,509

（注）１．セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去△82百万円及び投資不動産の内部取引利益△94百万円が含まれております。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

（１） 当社グループでは、連結の範囲の変更を伴う関係会社の異動を含む組織変更が生じたため、前連結会計年度では「通販非アパレル事業」としていた報告セグメントを、第１四半期連結会計期間より、「通販ＬＦ（ライフファッション）事業」及び「通販Ｈ＆Ｂ（ヘルシー＆ビューティー）事業」の２区分に変更いたしました。

なお、前連結会計年度の対応する四半期連結累計期間については、変更後の区分方法により作成した報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報を記載しております。

（２） 「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）」に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

なお、この変更によるセグメント利益への影響は軽微であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第３四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。